



22nd annual Congress of the
EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE
SPORT SCIENCE IN A METROPOLITAN AREA
5th - 8th July 2017, Essen - Germany

Ruhr University Bochum, Technical University of Dortmund and University of Duisburg-Essen



22nd annual Congress of the European College of Sport Science 参加報告

生命環境科学系 博士課程 2年 中島孝寛 (深代研究室)

「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、2017年7月5日から7月8日にドイツのエッセンで開催された 22nd annual Congress of the European College of Sport Science (ECSS) に参加させていただきました。本学会は、スポーツ科学に関する研究分野全般を対象とした国際的な学術集会であり、毎年ヨーロッパで開催されています。

各研究はトピックごとに各セッションに分類されており、関連分野をはじめとした多くの研究者が発表を聞きに訪れていました。私は3日目に「Ageing: Balance and stability」というセッションにて、「Reactive postural control by non-tripped leg in response to tripped leg behavior after a trip」という題でミニ口頭発表を行いました。本研究では、歩行中のつまずき直後に左右の下肢が互いにどのように姿勢調節を行って咄嗟の一步の着地に備えているかについて研究成果を発表しました。国際学会での口頭発表は初めてだったため緊張しましたが、発表後の質疑応答の時間には、多くの方から質問をしていただき興味を持っていただけました。また、セッション終了後にも、興味を持っていただいた研究者から質問やアドバイスをいただき、議論できたことは今後の研究の意欲向上につながりました。

本学会参加は、様々な研究における最新の知見を知る機会となり、また、多くの研究者と英語で質問・議論できたことは国内学会では経験できない非常に貴重な経験となりました。このような機会を与えていただいたこの度の助成に感謝するとともに、本学会にて得られた経験を今後の研究活動に活かしていきたいと思っております。



学会会場にて



Plenary session にて